

介護支援専門員 アンケート調査集計結果

- **調査趣旨**

包括的・継続的ケアマネジメント実践を可能にする環境整備と実践力の向上が図れるよう、皆様が日頃感じている困り事や課題点などについてお伺いし、今後の包括的・継続的ケアマネジメント支援内容について検討するうえでの参考にさせて頂きたく調査を行いました。

- **調査方法**

期間：2023年7月5日～2023年8月31日

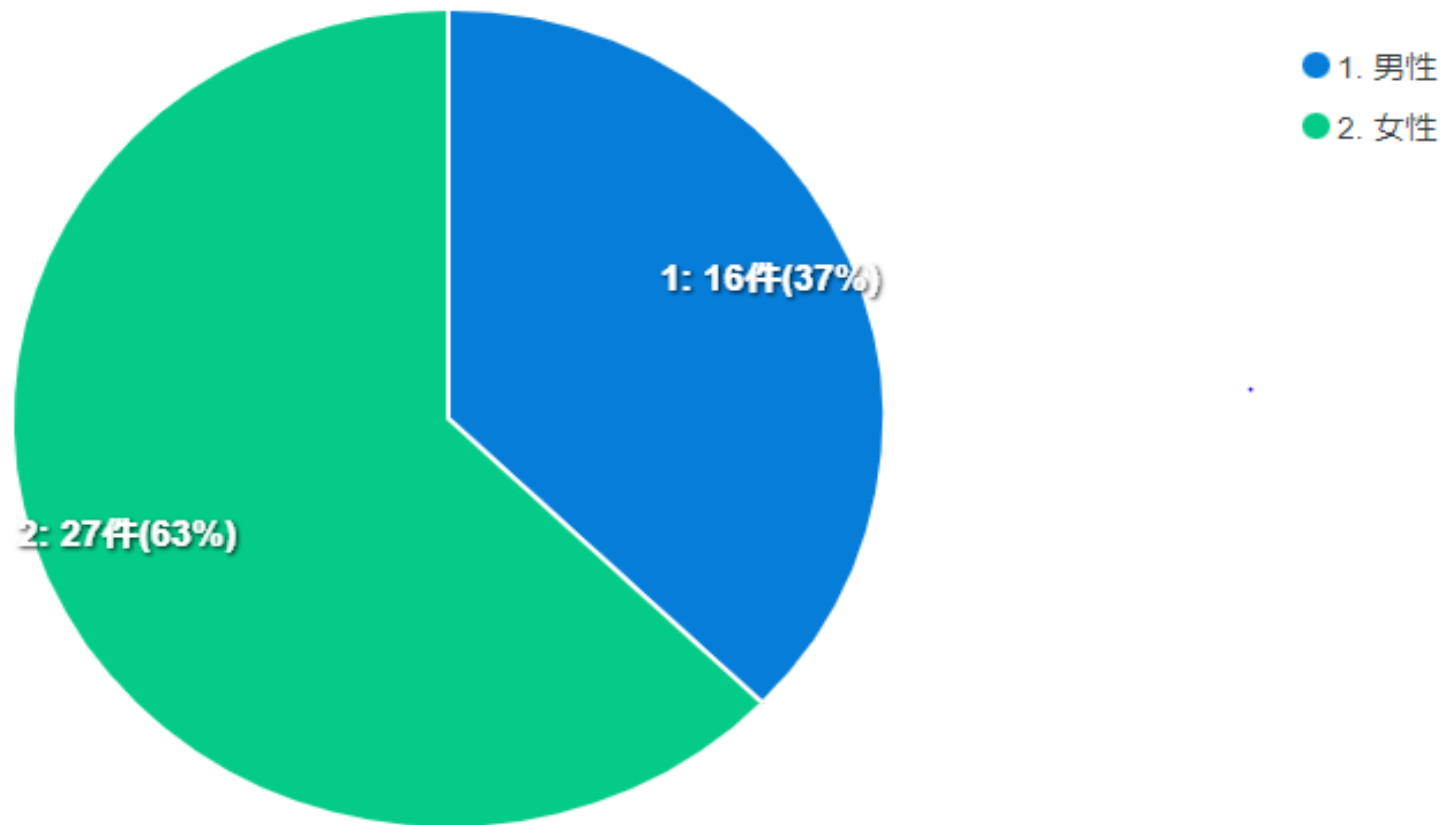
対象：26事業所 71名の介護支援専門員とプランナー

方法：Web回答

- **回答件数：43件（回答率：60%）**

問1 回答者の性別を選んでください。

男性が37%
女性が63%

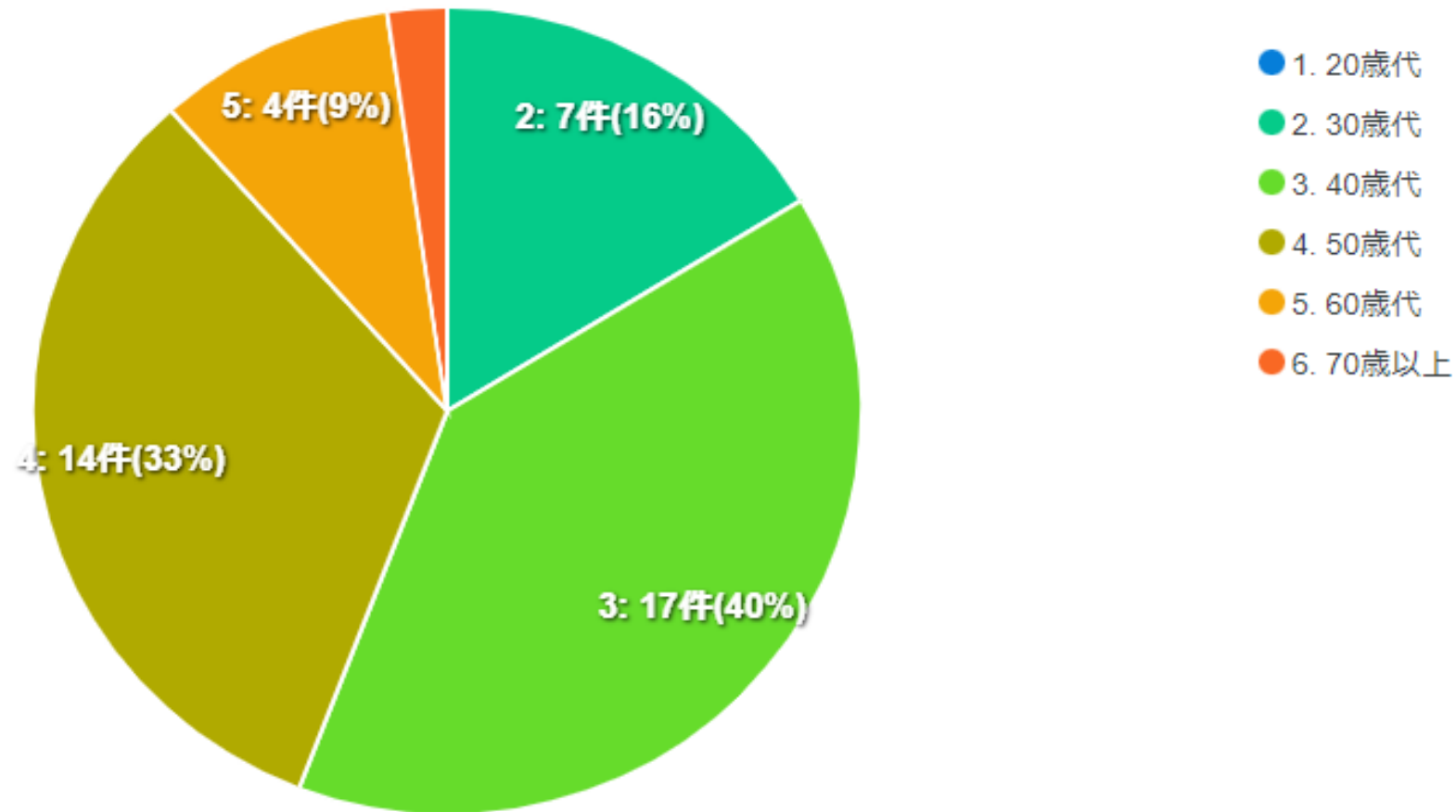


問2 回答者の年齢を選んでください。

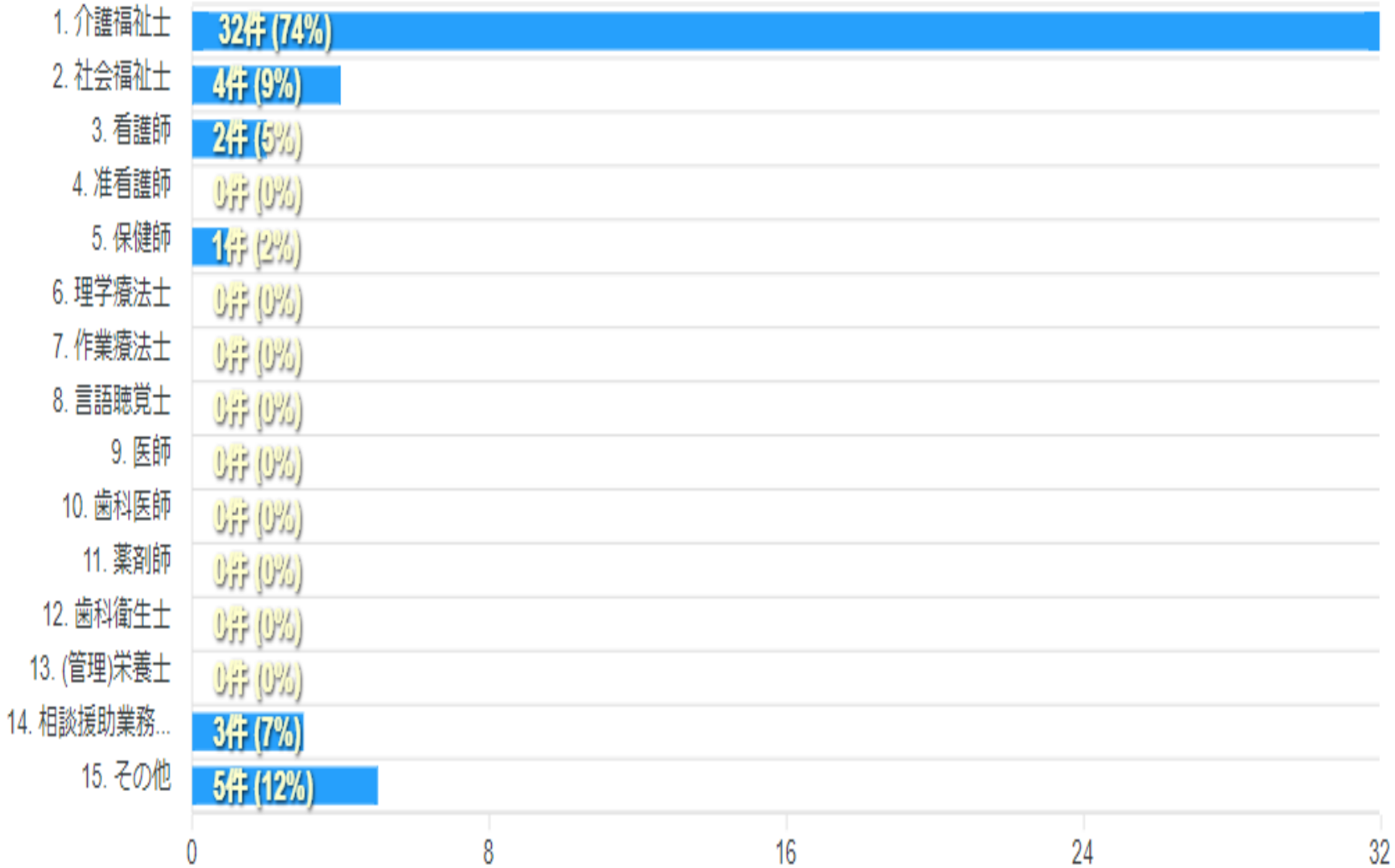
40代が40%

50代が33%

40~50代が半数以上



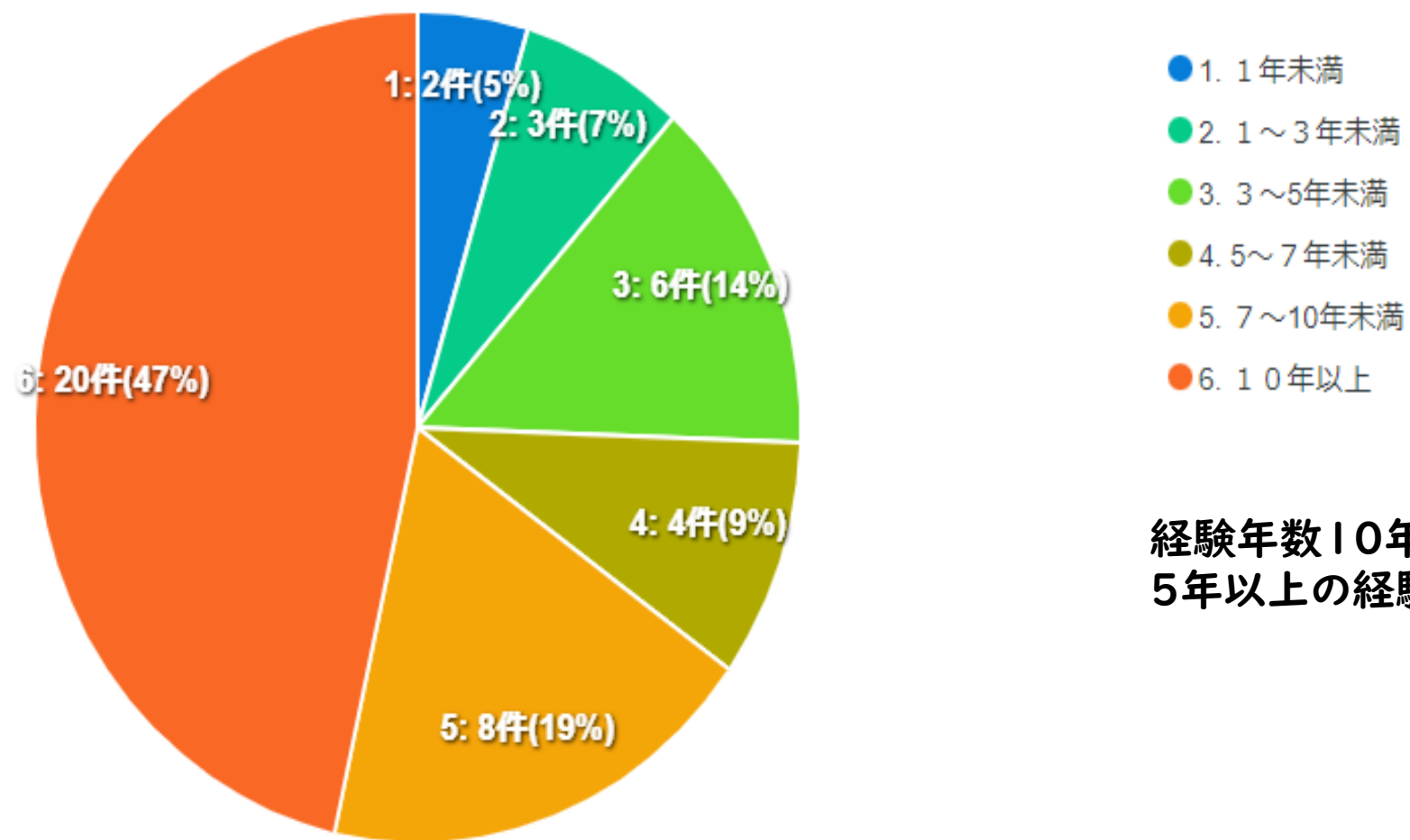
問3 回答者の基礎資格を選択してください。 (該当するもの全て)



基礎資格として介護福祉士が最も多く 74%

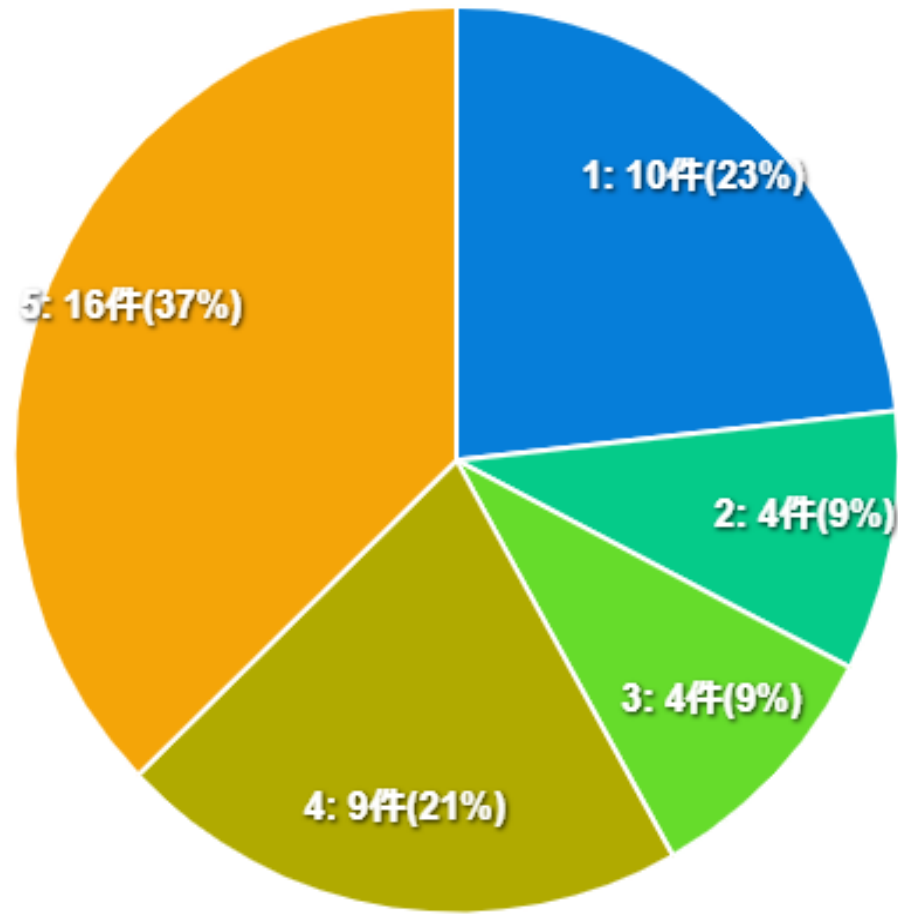
その他：
訪問介護員
社会福祉主事
精神保健福祉士

問4 介護支援専門員業務の経験年数について。



経験年数10年以上が最も多く47%
5年以上の経験を有する方が70%以上

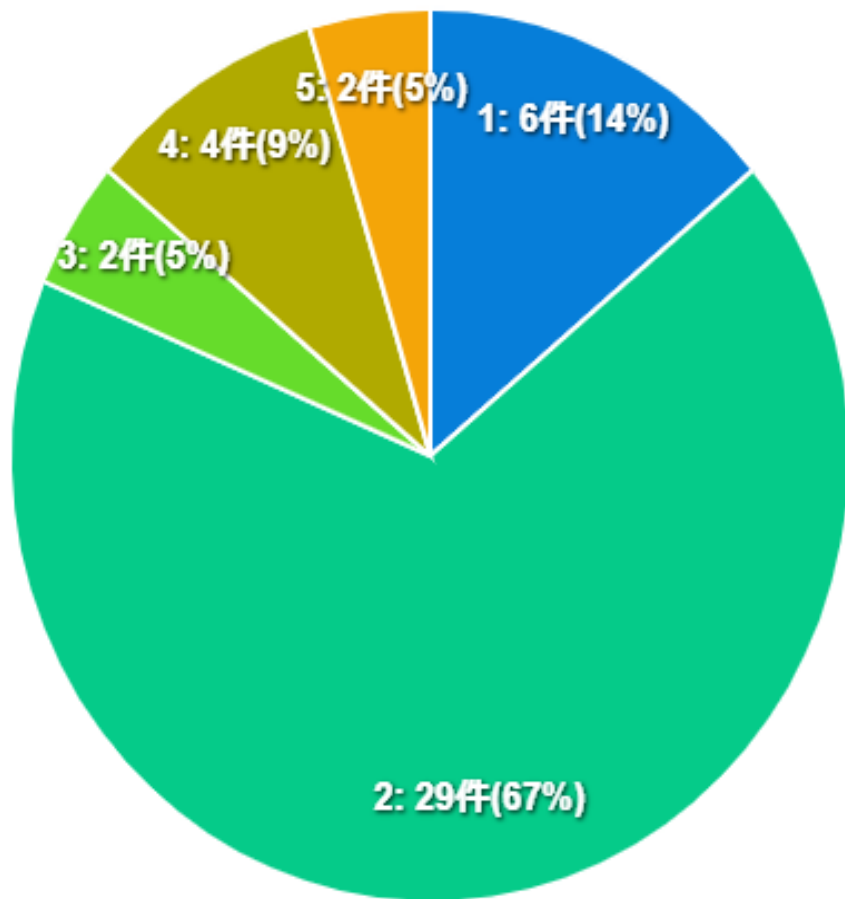
問5 ケアプラン担当利用者数（要介護）



- 1. 0人
- 2. 1～10人
- 3. 11人～20人
- 4. 21人～30人
- 5. 31人～40人

31人～40名が最も多く37%
ケアマネ1人平均:31件

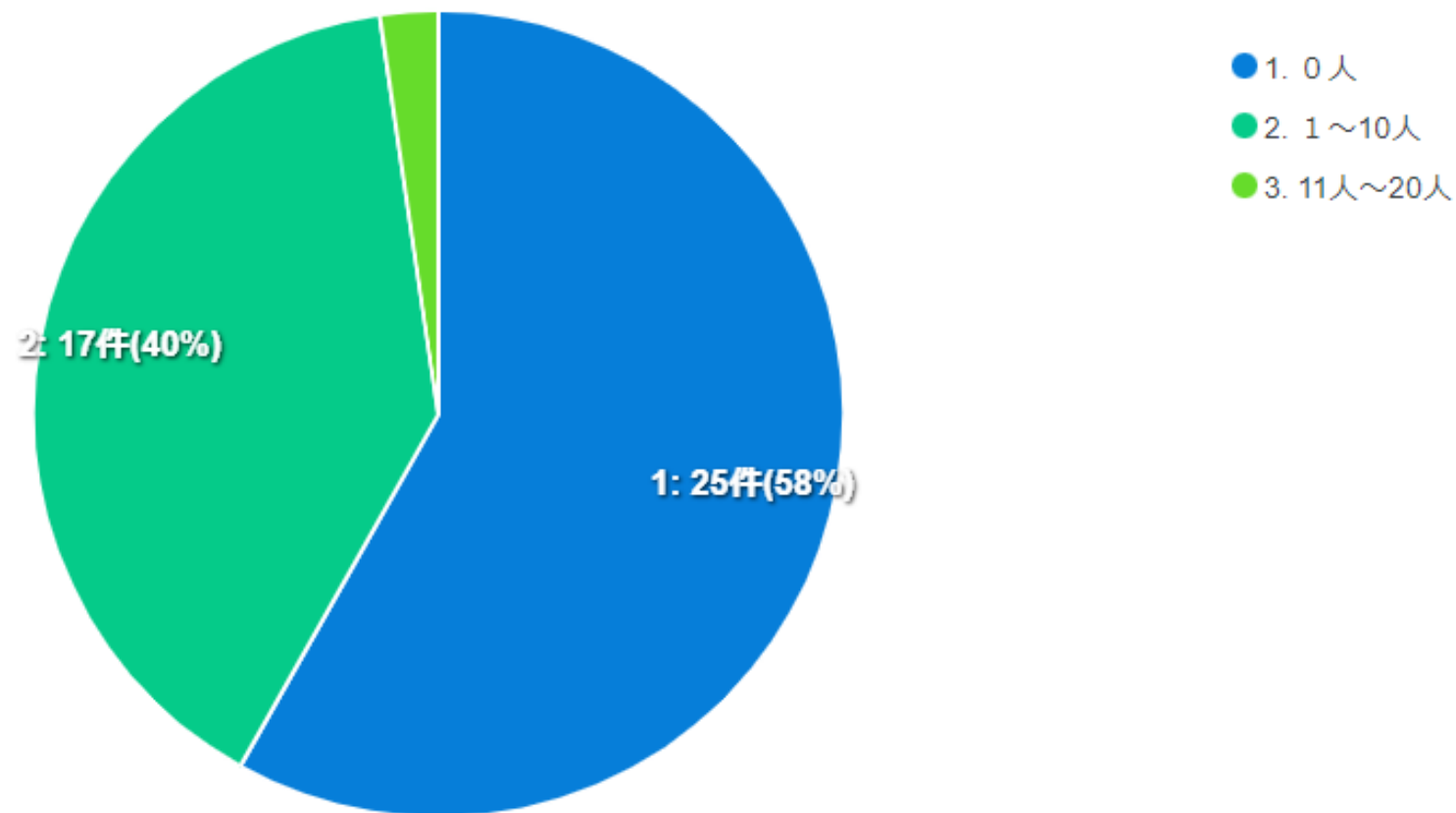
問5 ケアプラン担当利用者数（要支援）



- 1. 0人
- 2. 1～10人
- 3. 11人～20人
- 4. 21人～30人
- 5. 31人～40人

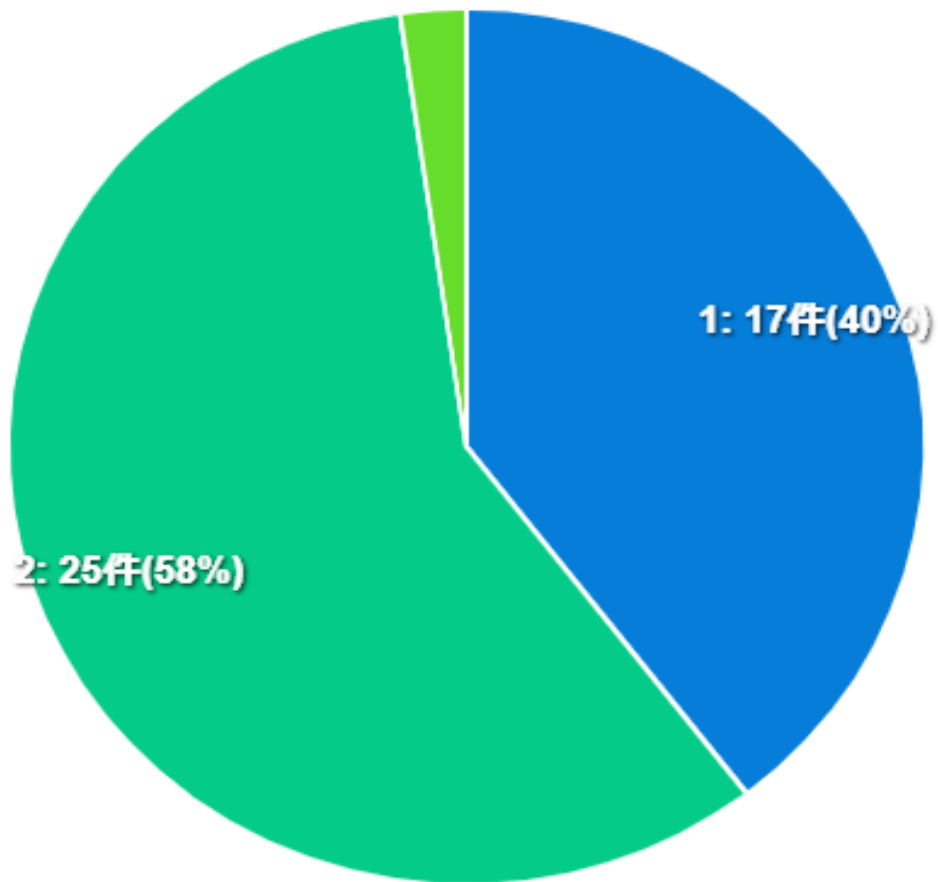
1～10人が最も多く67%

問5 ケアプラン担当利用者数（事業対象者）



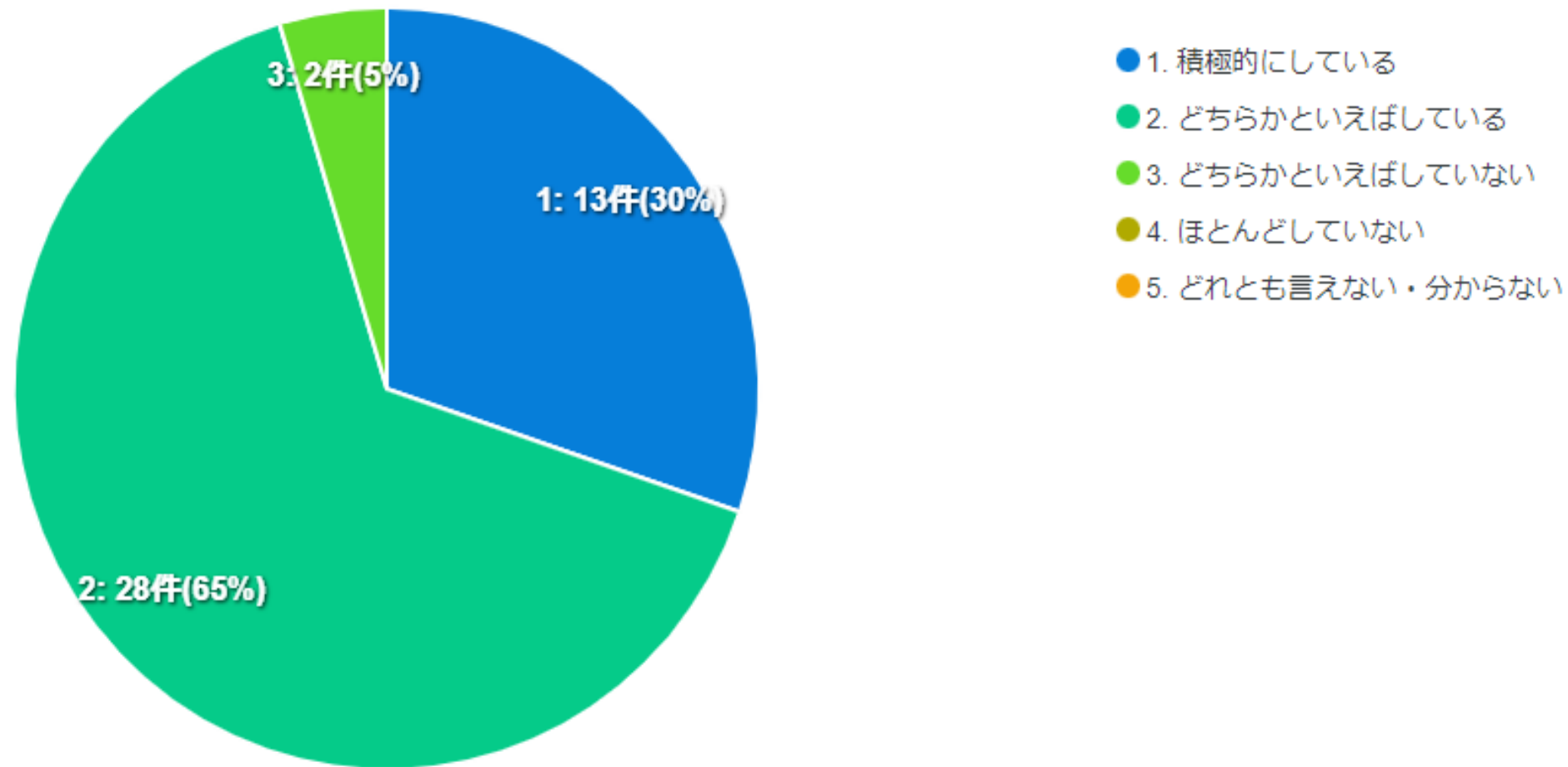
問6 1)~7)の設問について最もちかいものを選択してください。

1)ケアプランを作成する際に、利用者の生活の自立を意識している

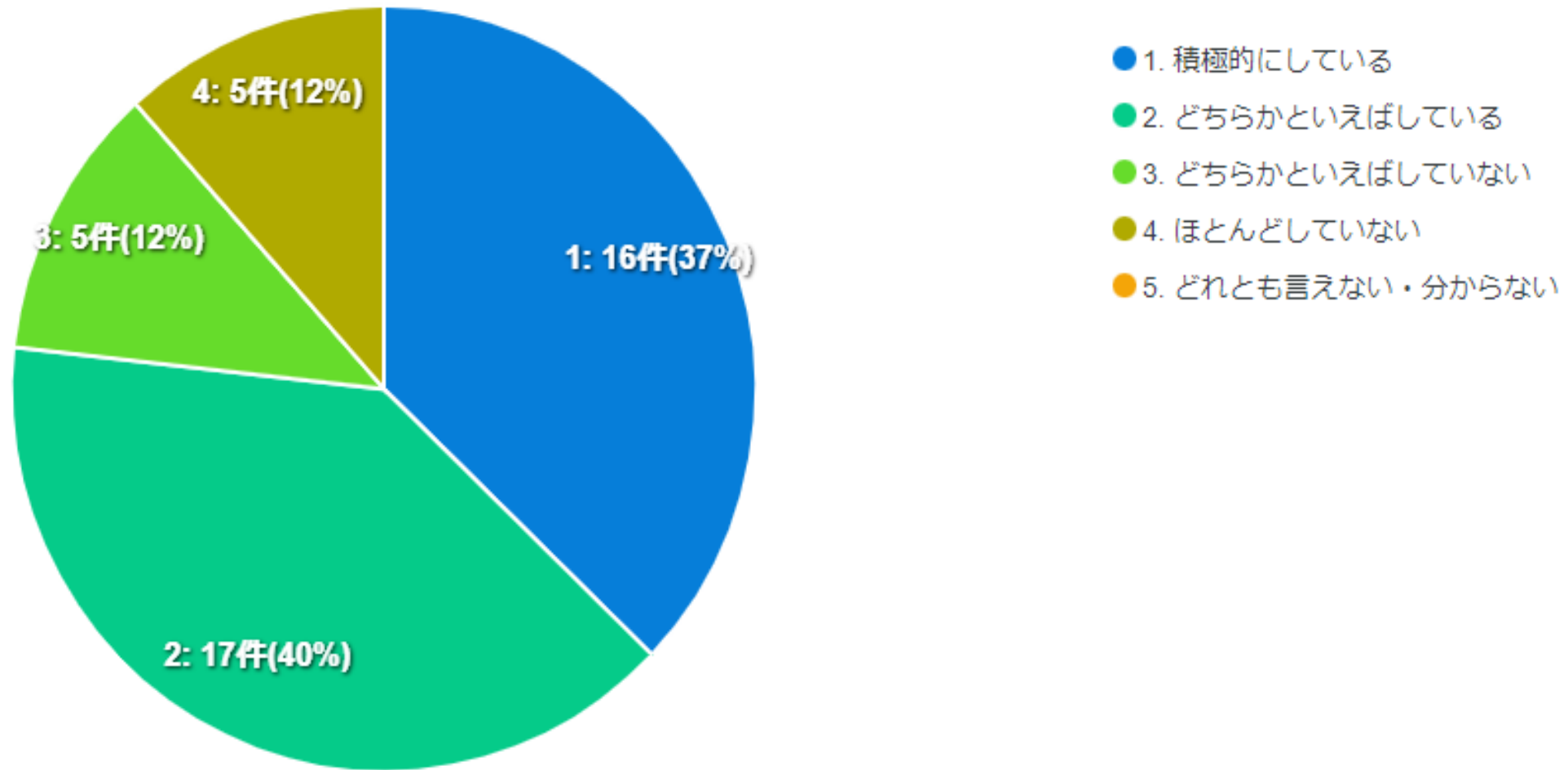


- 1. 積極的にしている
- 2. どちらかといえばしている
- 3. どちらかといえばしていない
- 4. ほとんどしていない
- 5. どれとも言えない・分からない

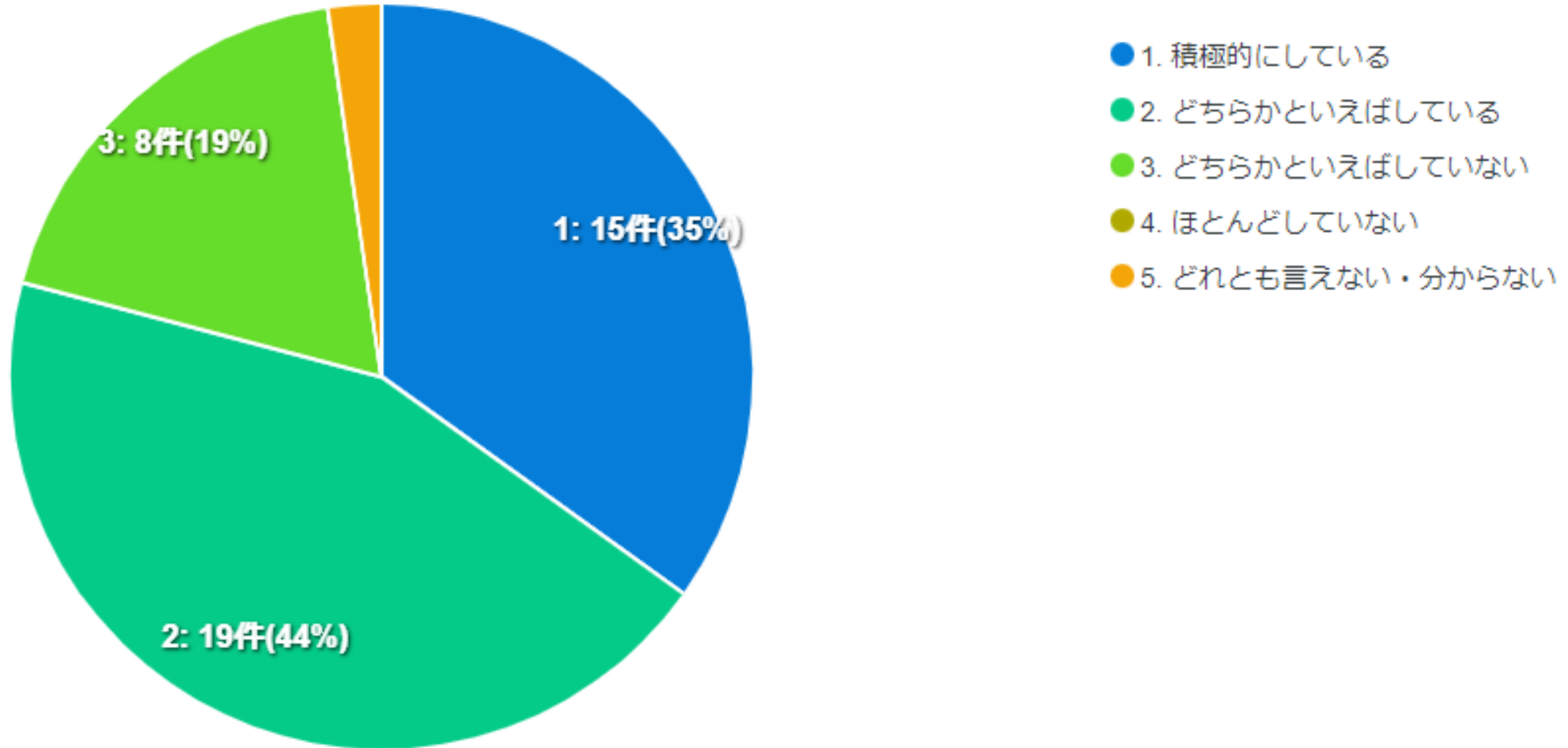
問6 2) ケアプランを作成する際に、自立支援の視点を意識している。



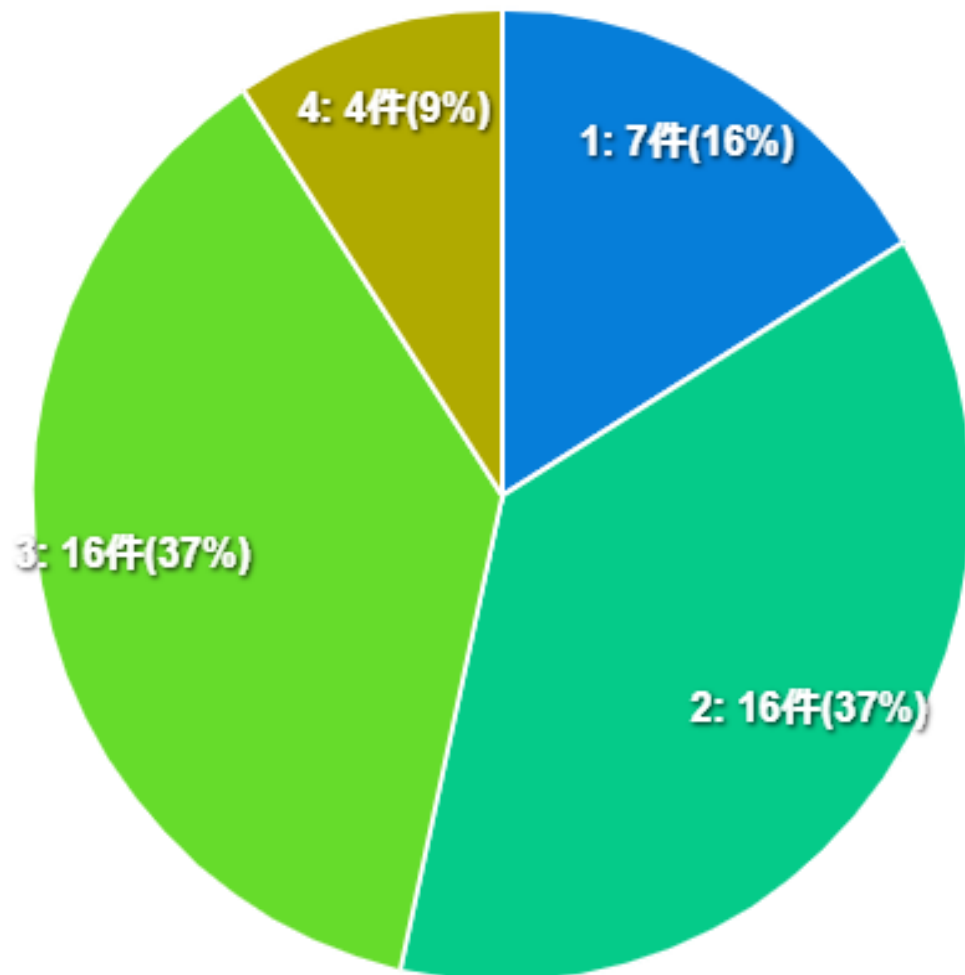
3) ケアプランを作成する際に、他の介護支援専門員の意見を求めている



4) ケアプランを作成する際に、インフォーマルサービスを盛り込むことを意識している。

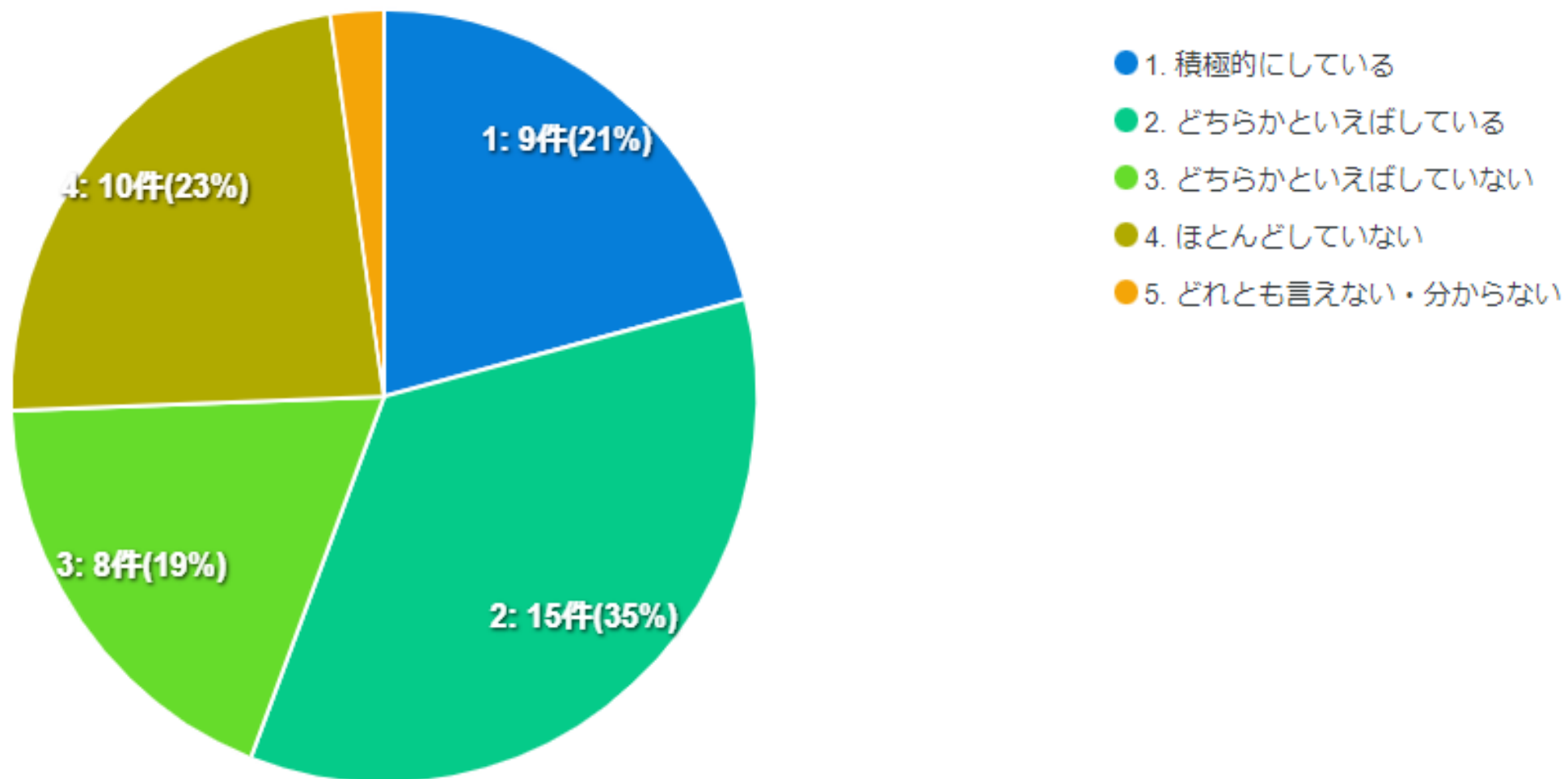


5) 事例検討を行っている

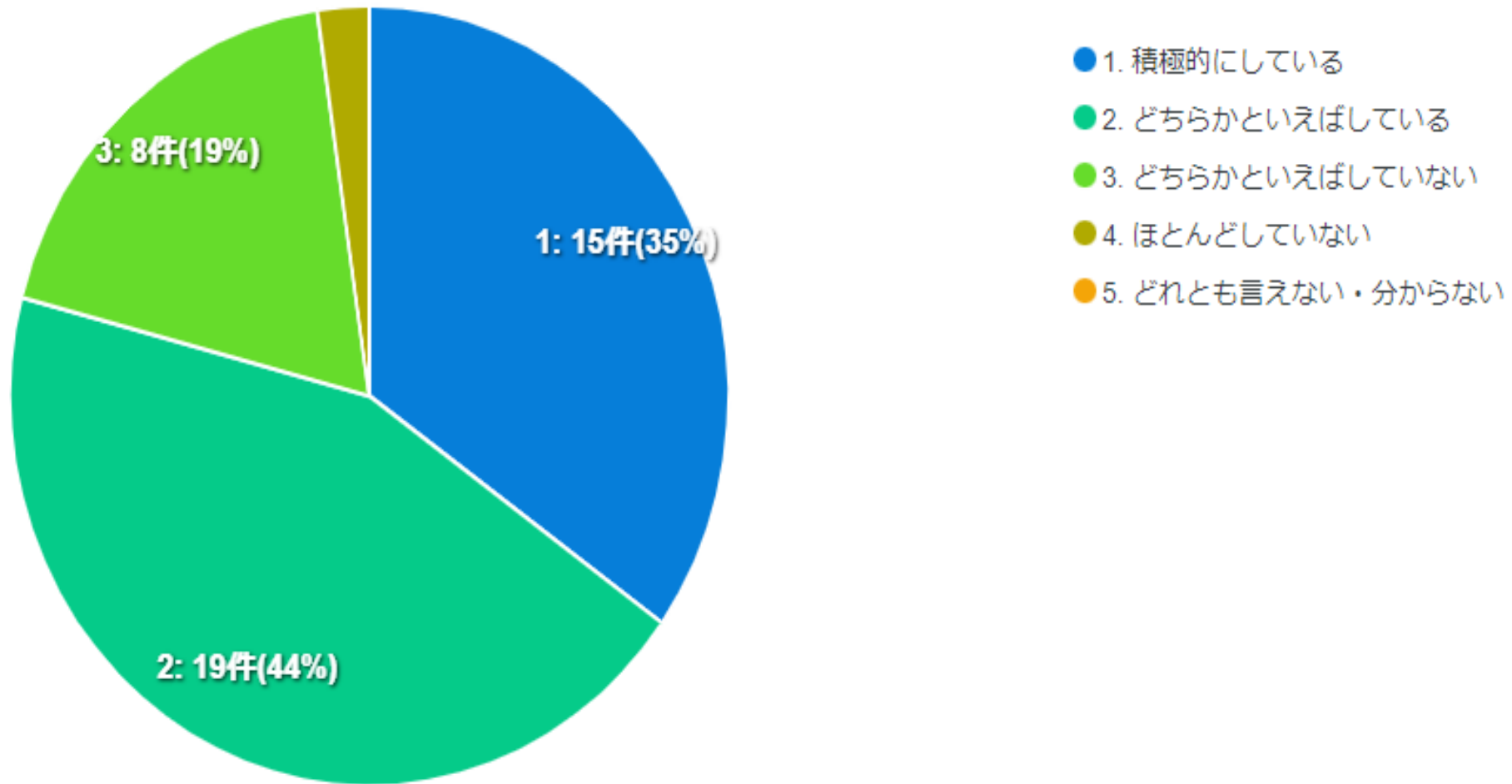


- 1. 積極的にしている
- 2. どちらかといえばしている
- 3. どちらかといえばしていない
- 4. ほとんどしていない
- 5. どれとも言えない・分からない

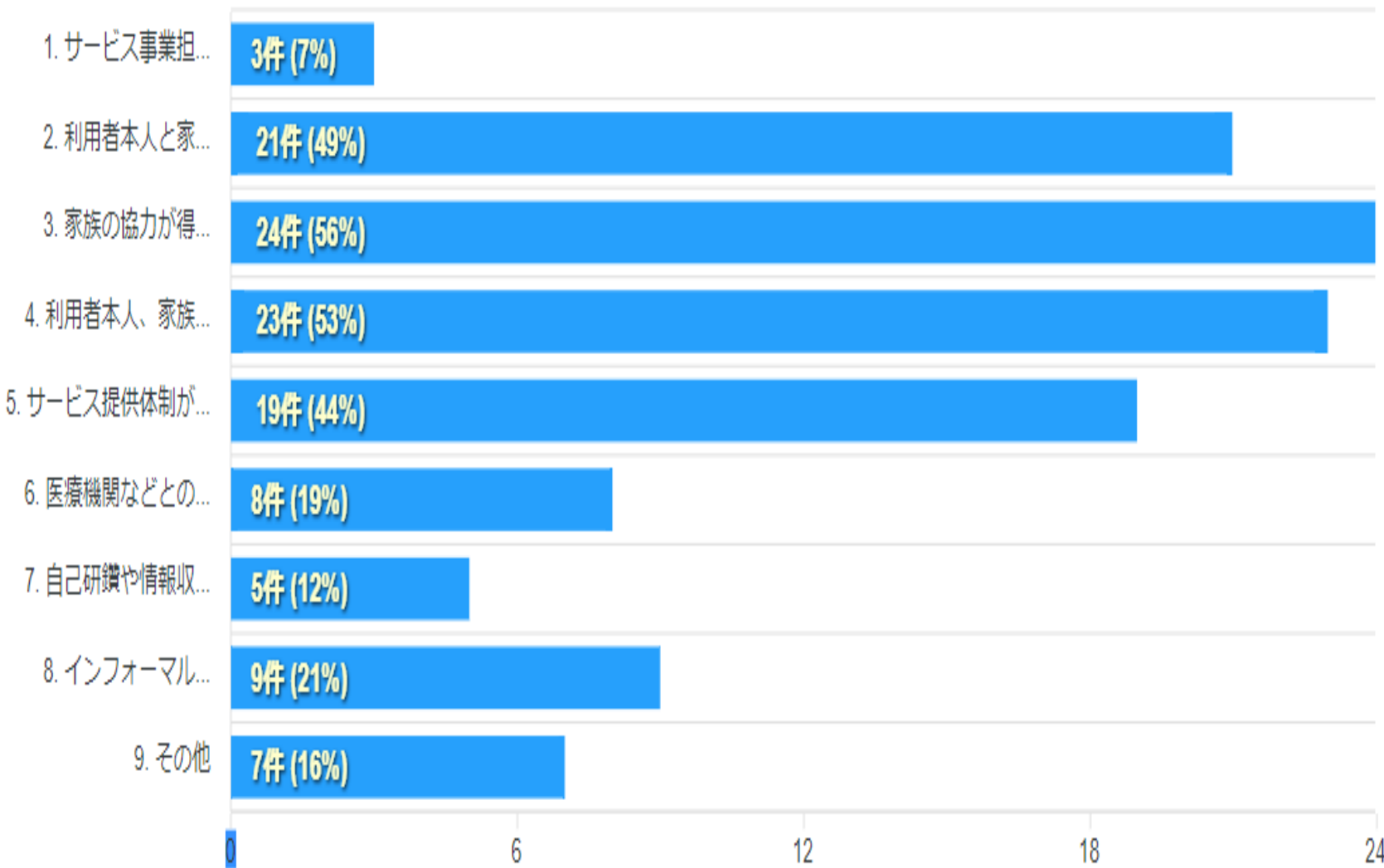
6) 地域包括支援センターが行う地域ケア会議に参加している



7) ケアプランや支援内容について他の専門職などから意見を聞いている



問7 ケアプラン作成時に困っていることはありますか。 3つ選択してください。



「家族の協力が得られない」が最も多く
56%

次いで「利用者本人、家族から必要以
上にサービス提供を求められる」53%
「利用者本人と家族の意見が異なると
きの調整に手間取ることがある」49%
と続いた。

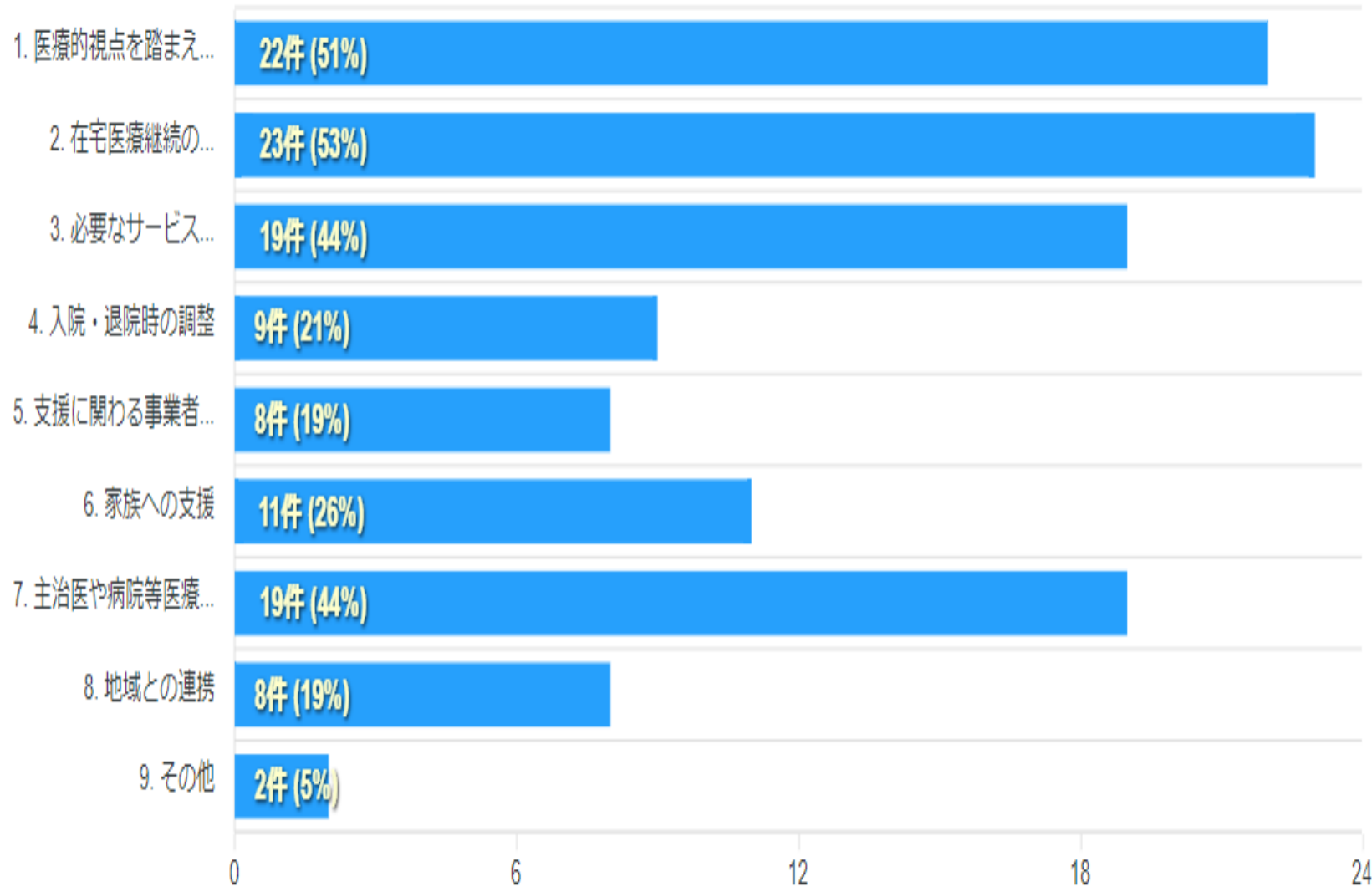
【その他】

- ・マネジメント過程の事務作業の多さと煩雑さ
- ・地域ケア会議が現状と解離していることがある
- ・要介護→要支援になった時、本人、家族へケアマネや事業所から十分な説明がいておらず、引き継ぎ受けた時
- ・書類の記録の仕方
- ・在宅の訪問介護員の減少で曜日や時間帯の調整が難しい。

問8 実践力、質の向上のために受けたい研修がありますか。

- ・人類学、アナキズムの視点でのコミュニティ自治の研修、できればフィールドワークがあれば、ぜひ参加したい
- ・事例検討会議
- ・事例検討会の研修
- ・アセスメントを取る時の視点。ケアプラン作成の研修など
- ・短期目標の期間終了時のケアマネジメント
- ・初任者向けの研修
- ・主任ケアマネ更新時に必要な法定外研修を毎年コンスタントに開催してほしい
- ・ケアプランの記載、具体的な文言を改めて学びたいです
- ・認定ケアマネジャー試験及び研修沖縄県内で受けたい
- ・"介護保険法の法的根拠に基づいた解釈の勉強会。有名な弁士や弁護士等、法に詳しい方が好ましい志の高い、博識なユーチューバーでも良いと思う。"
- ・地域における、身寄りのいない方の具体的な支援方法
- ・本音を引き出す面接術の研修
- ・地域の方々との、意見交換及び情報交換

問9 医療ニーズの高い利用者のケアマネジメントにあたり困っていることはありますか。 3つ選択してください。

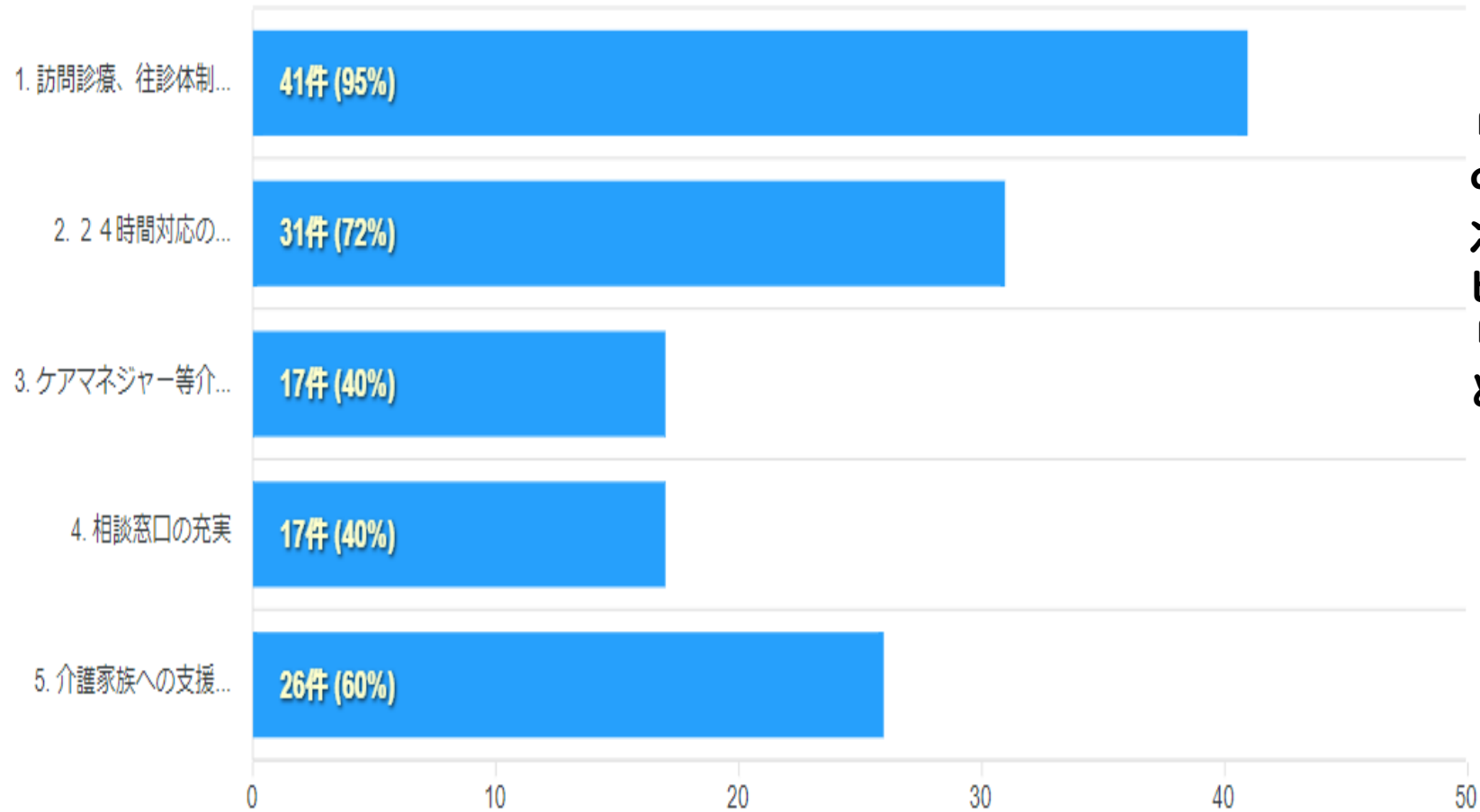


「在宅医療継続の可能性の判断」が最も多く53%
次いで、「医療的視点を踏まえたケアマネジメントの実践」51%
「必要なサービスの不足」44%
「主治医や病院等医療機関との連携」44%と続いた。

【その他】

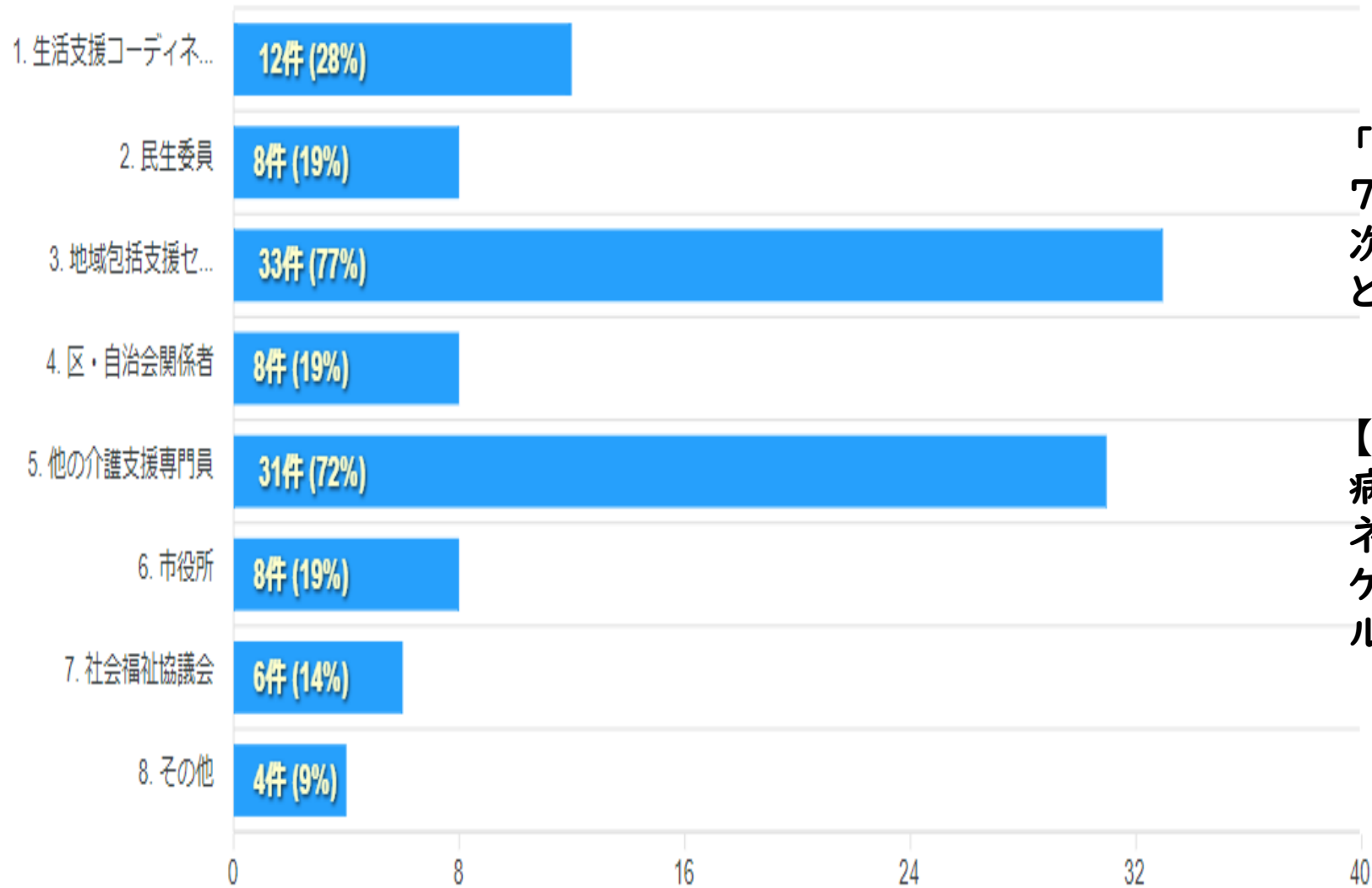
- ・医療ニーズの高い利用者の方のケアマネジメントに関わった事がない。
- ・名護市は訪問診療医師がいません

問10 医療ニーズの高い高齢者の在宅療養を支援するために必要と思われることは何ですか。 3つ選択してください。



「訪問診療、往診体制の充実」が最も多
95%
次いで、「24時間対応の看護・介護サー
ビスの充実」72%
「介護家族への支援の充実」60%
と続いた。

問11 インフォーマルサービスに関する情報を誰から(どこから)得ていますか。 3つ選択してください。



「地域包括支援センター」が最も多く
77%

次いで、「他の介護支援専門員」72%
と続いた。

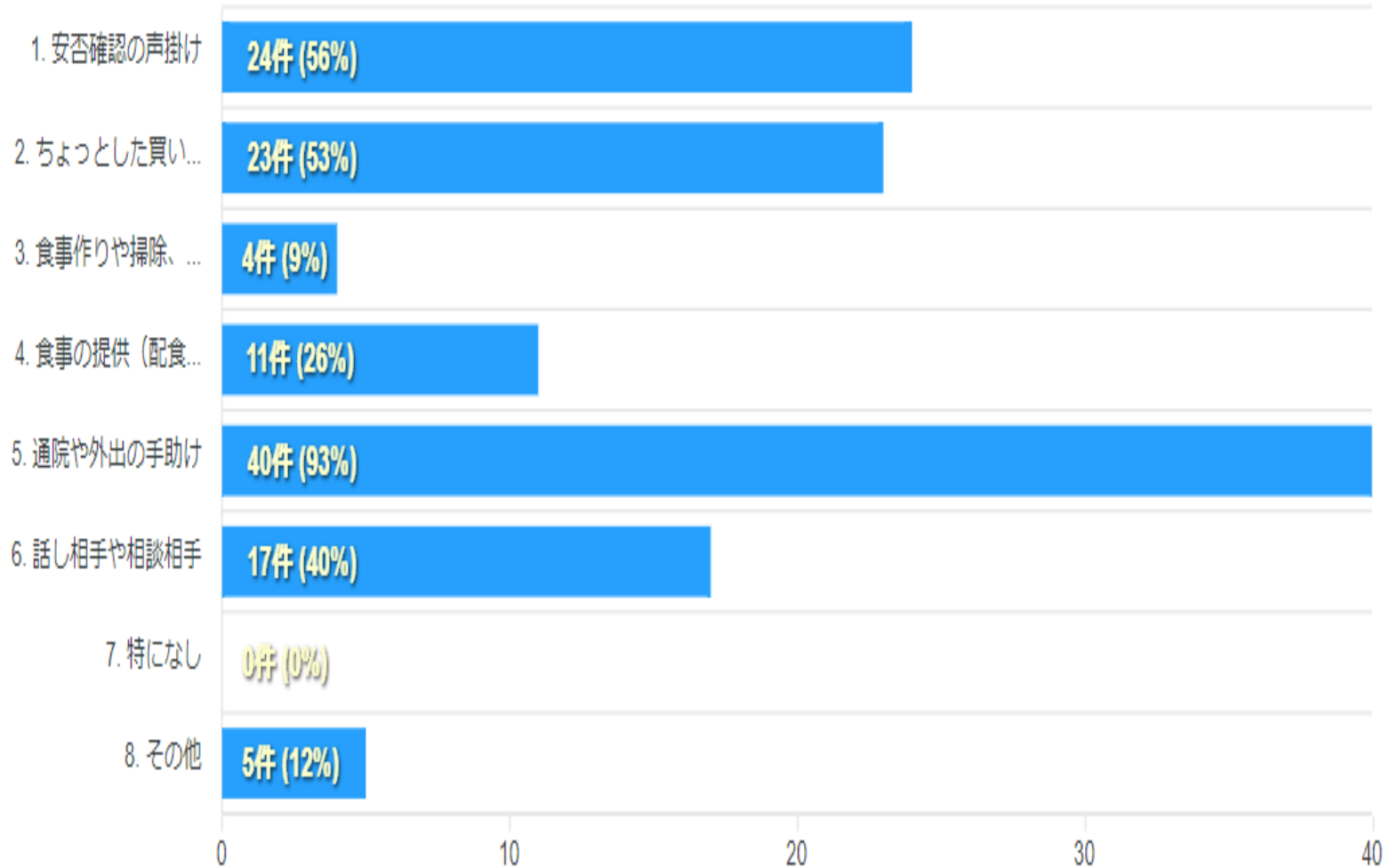
【その他】

病院、介護事業者

ネット

ケアマネオープンチャット：インフォーマルサービスのみならず情報源としている。

問12 インフォーマルサービスのうち、不足していると思われるのは何ですか。 3つ選択して下さい。

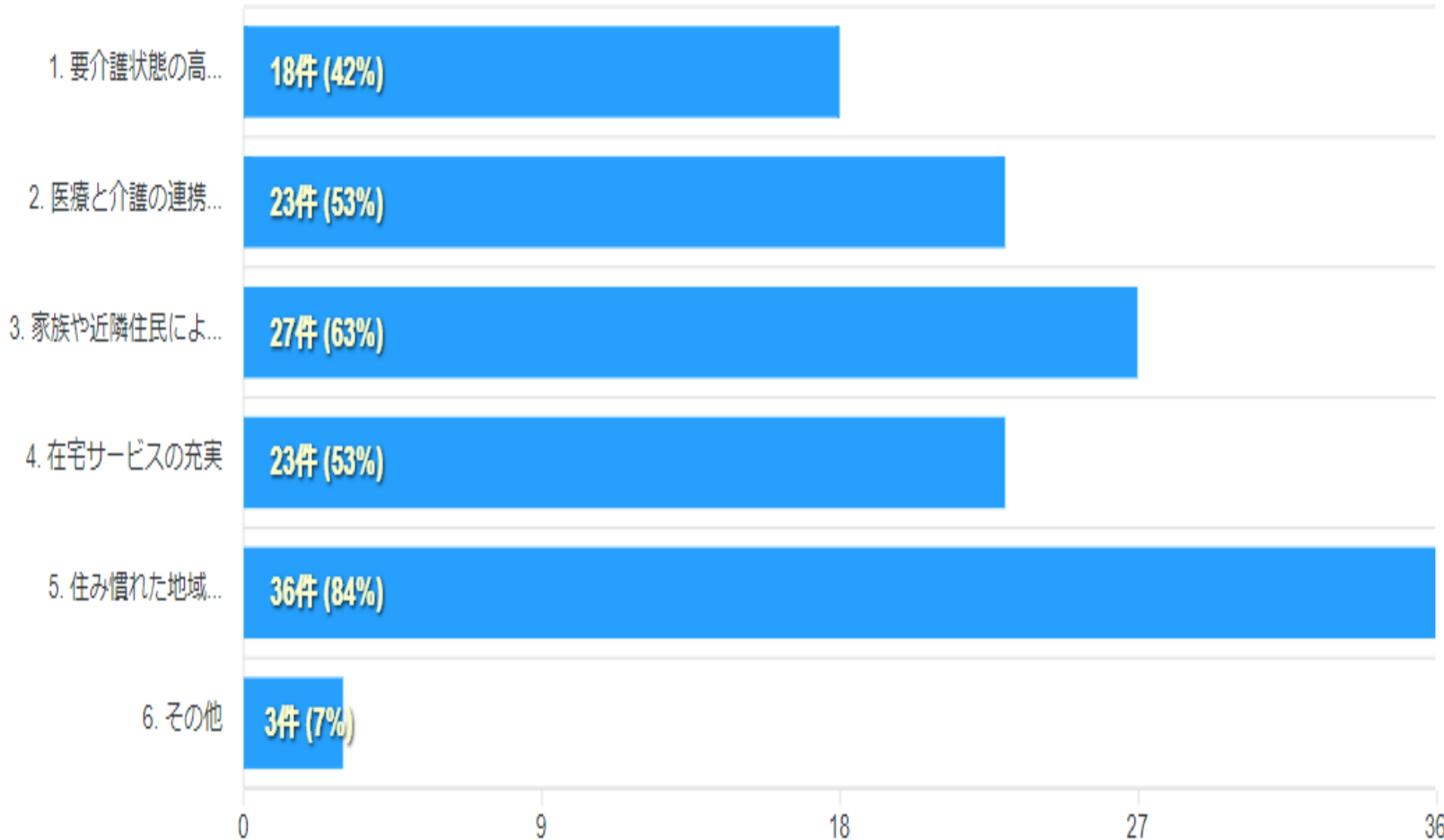


「通院や外出の手助け」93%
次いで、「安否確認の声掛け」56%
「ちょっとした買い物・ゴミ出し」53%
と続いた。

【その他】

- ・服薬の声掛け（数分で終わるレベルの人）
- ・家族が用事等でいない時の見守り。数時間見守りしてもらいたいなどの時。
- ・県民の意識の低さなど。各々の生活や仕事、コロナなどに追われ、地域住民のことまで手が回らない。考えない。
- ・過疎地域の買い物 同行支援 等
- ・金銭引き出し
- ・送迎可能なミニデイ

問13 「地域ケアシステム」について取り組むためには、何が重要だと思いますか。 3つ選択してください。

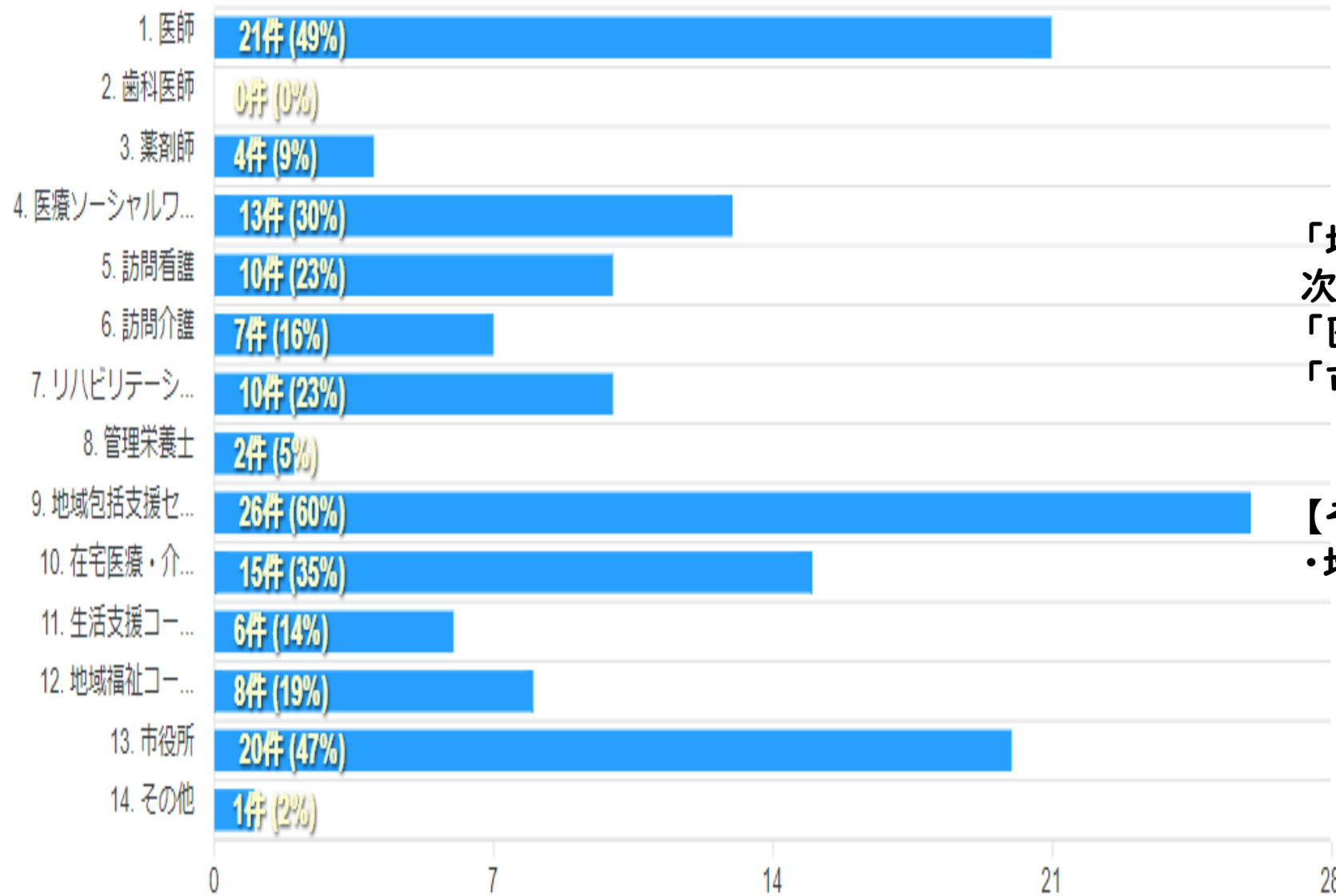


「住み慣れた地域で暮らすための住宅や施設の確保」が最も多く84%
次いで、「家族や近隣住民による高齢者の生活支援」63%
「医療と介護の連携強化（入院・退院時の連携強化）」53%
「在宅サービスの充実」53%と続いた。

【その他）

- ・介護保険に携わる職員の確保（魅力のある職種にすること）
- ・アクションプランだけに目を向けず、社会情勢や法改正も意識する。このようなアンケートは、大事だと思う。
- ・保険者（包括）24時間相談窓口
休日や夜間に相談できない。ケアマネだけで抱え込んでしまう。

問14 今後連携が必要と感じる関係機関、職種はどこですか。 3つ選択してください。

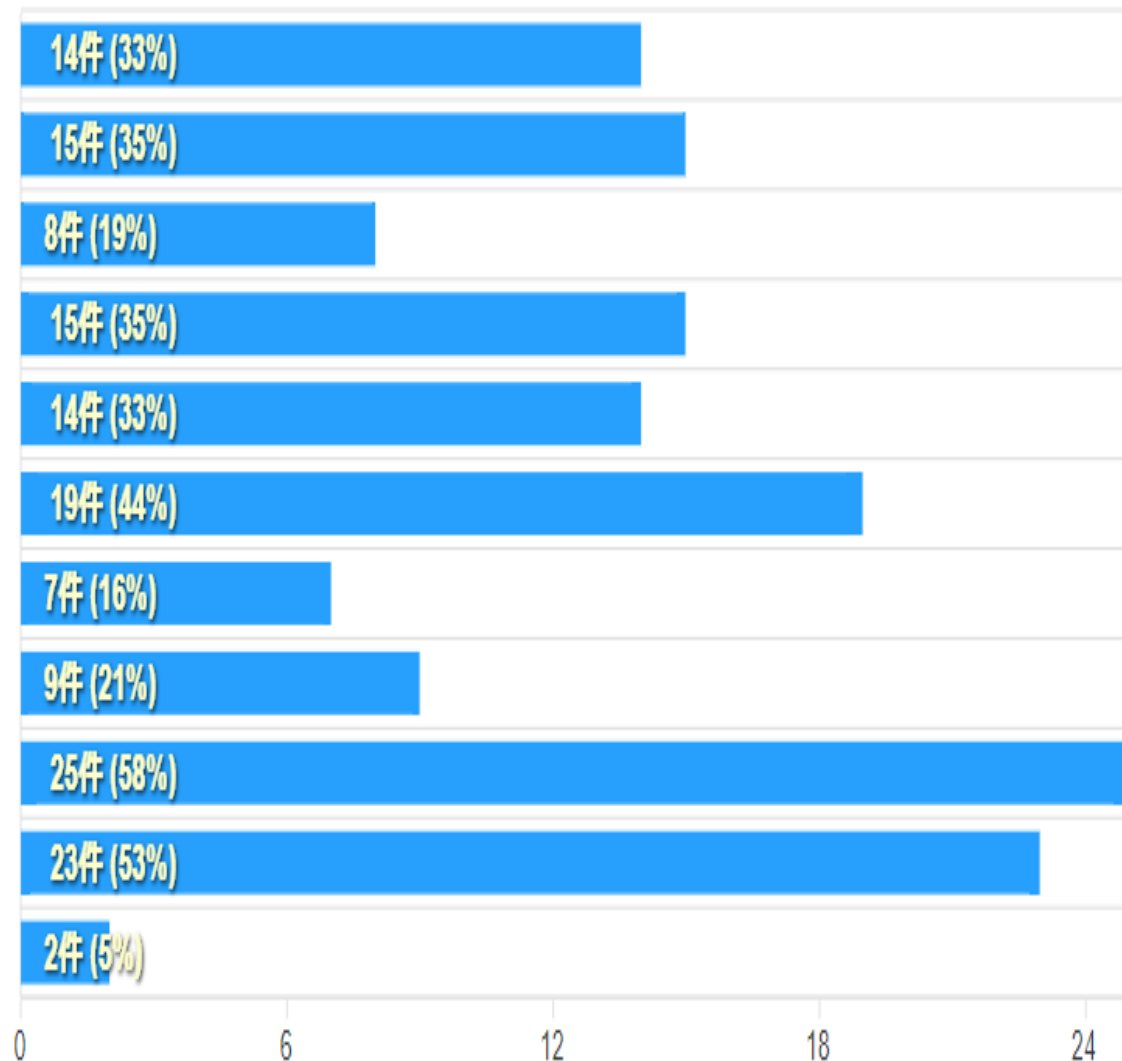


「地域包括支援センター」が最も多60%
次いで、
「医師」49%
「市役所」47%と続いた。

【その他）
・地域の自治会や民生委員

問15 今後の福祉、介護を充実させていくために、必要と思われることは なんですか。 3つ選択してください。

1. できるだけ介護が必...
2. 高齢者の生きがいや...
3. 高齢者の就労支援
4. 相談体制の充実
5. 地域全体で高齢者...
6. かかりつけ医や訪...
7. ボランティア活動な...
8. 権利擁護に関する...
9. 交通手段の整備など...
10. 福祉、介護人材...
11. その他



「交通手段の整備など、高齢者の移動手段の確保」58%
次いで、「福祉、介護人材の確保」53%と続いた。

【その他】

- ・書類の簡素化。
- ・重箱の隅を突くような指導やプランチェックをしない。書類も必要だけど利用者よりも書類の比重が重い。
- ・利用者だけではなく、ケアマネや介護従事者等にも目を向ける。自立度を上げるためにがんばると収入が減少するという事に疑問に持つ。名護市の条例で独自の加算を作っても良いと思う。基地を有しており、財源はあると考える。明石市のように様々なことを改善できればと思う。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

集計結果内容を分析し、今後の包括的・継続的ケアマネジメント支援
内容の検討を進めてまいります。